

2024年度 ルール講習会

JLTF埼玉支部審判委員会

* フェアプレイはスポーツの基本です。フェアプレイとは？

- ① ルールを守る、
- ② 対戦相手をリスペクトし、
- ③ スポーツマンシップにのっとり、正々堂々と戦うこと。

コート内では時としてトラブルが起きます。その多くはセルフジャッジの試合におけるスコアの食い違いやジャッジの判定に関してです。

日本テニス協会は、試合でのフェアプレイ向上のため、セルフジャッジ5原則の順守の呼びかけを行っています。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は、「グッド」（相手に有利に）!
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない!

(JTA テニスルールブック 2024 P253引用)

★次のような時は、レフェリー又はロービングアンパイアを呼びましょう★

- ① 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時
- ② プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起きた時
- ③ けがや体調不良でメディカルタイムアウト、またはメディカルトリートメントを取りたい時
- ④ 試合中、トイレ、着替え、ヒートルール等でコートを離れたい時
- ⑤ リタイアしたい時
- ⑥ 相手選手からの故意の妨害（ヒンダランス）があった時

* 2022~2024年度ルール改正点

- ① 電子機器の使用 P55
スマートウォッチは、電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。
電動ファン付きジャケット、ベストの着用及び電動ファンについては、各エンドチェンジ、セットブレイクの時間内に限り使用することができる。
- ② ノードでの間違いの訂正方法の変更 P59
- ③ 誤ったコールを訂正した場合 P209
- ④ トイレットブレイクと着替え P142
- ⑤ 服装規定 (JLTFの埼玉県大会に関しては服装規定はありません) P150